



iACT

橋渡し研究支援機関 キックオフ シンポジウム

基礎研究の成果を革新的な医薬品・医療機器等として
国民に提供するために

開催形式

Zoom
Webinar

参加費無料

日程

2022年5月23日月 14:00~16:15

主催

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT)

京都大学は2021年12月20日付けで、文部科学大臣より「橋渡し研究支援機関」に認定されました。そこで、認定を記念し、学内外の幅広い方々より橋渡し研究支援機関として京都大学に期待することなどについてご講演いただくこととなりました。つきましては皆様方の参加をお待ちしております。

プログラム

第一部 司会：伊藤 達也 iACT 医療開発部 講師

14:00-14:05 開会の辞 岩井 一宏 京都大学大学院医学研究科 医学研究科長

14:05-14:10 祝辞 宮本 享 京都大学医学部附属病院 病院長

14:10-14:15 橋渡し研究支援機関として京都大学が社会に果たす役割 湊 長博 京都大学 総長

14:15-14:30 橋渡し研究支援機関認定制度と今後の橋渡し研究プログラムについて 建部 俊介
文部科学省研究振興局 ライフサイエンス課 専門官

14:30-14:50 京都大学拠点のこれまでの実績と今後の展望 永井 純正 iACT 医療開発部 部長

第二部 座長：永井 純正 iACT 医療開発部 部長

「橋渡し研究支援機関としての京都大学に期待すること」(各10分)

●「異分野研究者の立場から」小西 聡 立命館大学 理工学部 教授

●「医学研究者の立場から」小賤 健一郎 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授

14:50-15:40 ●「拠点外の支援機関の立場から」猪原 登志子 京都府立医科大学 附属病院 臨床研究推進センター(CTREC) 講師

●「拠点外機関の支援部門、医療機器審査経験の立場から」久津見 弘

滋賀医科大学医学部附属病院 臨床研究開発センター センター長・教授

●「製薬企業出身の立場から」谷田 清一

公益財団法人 京都高度技術研究所(ASTEM) 地域産業活性化本部 京都市ライフイノベーション創出支援センター アドバイザー

パネルディスカッション

15:40-16:10 「橋渡し研究を支える橋渡し研究支援機関の在り方とは」

パネリスト：小西 聡、小賤 健一郎、猪原 登志子、久津見 弘、谷田 清一、
伊藤 達也、服部 華代(iACT 医療開発部)

16:10-16:15 閉会の辞 稲垣 暢也 iACT 機構長

参加登録用QRはこちら▼



スマートフォン・携帯電話からは上記QRからもご参加いただけます。画面の案内に従い、ご登録のうえで参加ください。

お申し込み方法

ご参加希望の方は下記 WEB サイトよりお申込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_p4RDUOMgSS2X4VnL9wY4dg

お申し込み完了後、ご登録いただいたメールアドレスに後日 Webinar 参加のご案内をお送りいたします。

お問い合わせ

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT) 八軒・ネフ

✉ spr_crt@kuhp.kyoto-u.ac.jp